

高温耐性を有するスイカ「祭ばやしAD」の選定

1 背景・目的

近年の温暖化により収穫終了期が前進化する中、地元市場からは最需要期の8月盆前出荷への要請がある。しかしながら、果実肥大期後半の高温は糖含量の低下や果肉の軟化等、品質劣化を招きやすい。このため、高温期の砂丘畑において果実品質が安定し、高温耐性を有した8月盆前収穫に適する品種を選定する。

2 技術のポイント

- (1) 「祭ばやしAD」は、8月初旬の高温期における収穫でも、皮境付近まで比較的糖度が高く、シャリ感があり、食味も良い。また、果肉硬度が高く、うるみも少ない(図、表)。
- (2) 黄帯がやや目立つものの、大玉で空洞が発生しにくく、形状もよい(写真、表)。



写真 「祭ばやしAD」の果実断面

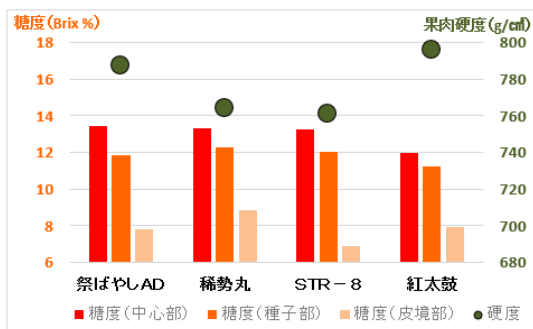


図 高温期収穫における果実品質
(グラフは2018-2019年2カ年の平均値)

表 収穫時の果実品質等

試験年	品種	果重 (kg)	外観秀品率 ^Z (%)	糖度 (Brix %)			果肉硬度 (g/cm ³)	うるみ ^Y 程度	空洞 ^Y 程度	黄帯 ^Y 程度
				中心部	種子部	皮境部				
2019年	祭ばやしAD	7.4 a	88	13.1 a	11.7 ab	8.0 b	785 ab	18.8	0.0	40.6
	稀勢丸	7.0 a	63	13.0 a	12.3 a	9.6 a	767 b	18.8	9.4	31.3
	STR-8	6.9 a	100	13.1 a	11.8 a	6.9 b	774 b	15.6	3.1	25.0
	紅太鼓	7.4 a	75	12.2 a	10.7 b	7.7 b	798 a	18.8	6.3	40.6
2018年	祭ばやしAD	7.5 bc	60	13.6 a	12.0 ab	7.7 b	788 ab	18.3	13.3	41.7
	稀勢丸	7.0 c	70	13.4 a	12.3 a	8.6 a	762 ab	23.3	16.7	41.7
	STR-8	8.1 ab	60	13.3 a	12.1 ab	6.9 c	755 b	18.3	18.3	10.0
	紅太鼓	8.9 a	60	11.9 b	11.4 b	8.0 ab	795 a	21.7	8.3	36.7

[2019年]定植:5/10(50穴プラグ苗・ばおばお90べたがけ) 被覆除去:6/6 開花:6/24~27 収穫:8/1~5(開花後38日 ※紅太鼓のみ42日)

[2018年]定植:5/8(50穴プラグ苗・ばおばお90べたがけ) 被覆除去:6/13 開花:6/25~7/2 収穫:7/30~8/7(開花後35日)

台木:No.8 施肥量(kg/10a):N-P₂O₅-K₂O = 15.5-13.3-15.3

^Z 肩落ち、軸の傾きなど外観の形状による ^Y うるみ、空洞、黄帯程度:各果の発生状況を0(無)~3(甚)の4段階で評価。程度=Σ(指数×指数別果数)

^V 異符号間に、Tukeyの多重比較で5%水準の有意差あり(2019年:n=8、2018年:n=20)

3 成果の活用と残された問題点

- (1) 砂丘地農業研究センターほ場における、台木「No.8」での結果である。
- (2) 黄帯が出やすいので、積算温度 1,000°Cを目安に試切りをして収穫日を判断する。

問合せ先:砂丘地農業研究センター TEL 076-283-0073
担当者:竹下栄伸